常盤の翠

志・寛・錬

発行
令和4年4月20日
鹿児島市立伊敷中学校

感謝の心で満ちあふれた「思いやり」通い合う学校に

校長　河瀬　雅之

　新型コロナウイルスへの対応を迫られ、三年度目の春を迎えました。伊敷中学校では新入生二百四十三名、新任の先生方十五名を新たに加え、初々しくも活気を感じる新学期が始まりました。新しい生活についていくことが精一杯だった一年生も、今は新生活に少し慣れ、昼休みに外で元気に過ごす様子も見られるようになりました。**この半月で制服の違いに内面が追いつく大きな成長を遂げています。**

　昨今の鹿児島では感染拡大がとどまることを知らず、学校の安全対策にも緊張感が続く毎日です。来週予定されていたＰＴＡ総会も、やむなく書面開催とすることになりました。直接お話をする機会がなかなか設定できず恐縮ですが、学校だよりや学年・学級通信、ホームページ、今年から導入のさくら連絡網等で**学校の情報を丁寧に発信していきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。**

　対面での活動が大きく制限される状況が長期化すると、心配されるのは子供たちの心の問題です。人と人とのつながりが希薄になることにより、**対人関係のトラブルを自身で解決できなかったり、問題を心の中で抱え込んでしまったりする生徒が増えないか心配**しています。**そんな状況下だからこそ大切にしたいのが、人と人との温かい思いやり「感謝の心」**です。先日はそんな思いを込め生徒向けに次のような話をしました。

「皆さんは、感謝の言葉の代表『ありがとう』の反対語は何だと思いますか・・・。

　私が思う『ありがとう』の反対語は『当たり前』です。ありがとうの語源は『有り難い』つまり有ることそのものが難しいから『有ること自体に感謝する』という意味だそうです。**自分の生活を振り返ると実はとっても有り難いことなのに、当たり前だと思っていることはありませんか。**

　親が作ってくれる食事は当たり前、友達と楽しく過ごせることは当たり前、わかりやすい授業が受けられるのも当たり前。でも、考えてみたらどれも当たり前ではない。新型コロナの影響で、これまで当たり前だった多くのことも当たり前ではなくなりました。今一度、身の回りの世界を『有り難い』という目で見渡してみましょう。三度のご飯が食べられることや清潔な衣類が着られること、戦争のない平和な世界で暮らせることさえ決して当たり前ではないことに気付くはずです。これだけ有り難い中にいて、あれが足りないこれがない、自分の思いと違うからと言って不満を述べるのはちょっと違うと思いませんか。

　あるのが当然と思っているうちは、感謝の気持ちは生まれません。**感謝の気持ち『ありがとう』は有り難いことに気付いている人が、自然に発する言葉なのです。**」

　感謝の気持ちをもち続ける人は周りの人から感謝される人になることができます。新学年となった今、**この一年を皆が幸せに過ごすために、まずは身の回りの人に感謝することから始めてみましょう。**保護者の皆様もそのような目で子供たちを見守っていただければ『**有り難い**』と思います。

一期一会

十五名の新任の先生を迎えました

　三月の別れの季節を乗り越え、四月の出会いの季節を迎えました。今年度もやる気に満ち溢れた十五名の先生方が伊敷中学校に赴任されました。新任者のあいさつの中には、「以前、伊敷中学校に努めていましたが、その時と変わらず、素晴らしい態度で話を聞いている姿を見て、これからの学校生活が楽しみになりました。」という話もありました。本校職員一丸となって、伊敷中の子供たちのために精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

第七十六回入学式

　少し肌寒さが残る四月六日、伊敷中第七十六回入学式が行われました。入学式前のクラス発表では、期待に胸を膨らませる新入生の姿が見られました。今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策のため、縮小開催となりましたが、在校生も一部参加することができました。生徒会長の田代紅愛さんと副会長の新地勇太さんは、新入生に英語と日本語で歓迎の言葉を届けました。新一年生は先輩たちの堂々とした態度に、尊敬の眼差しを向けていました。新入生を代表して、池水晴香さんは「一昨年から、私たちの前に新型コロナウイルスという大きな壁が立ちはだかり、思うように生活できなくなりましたが、友達と協力することや何事にも挑戦し、決してあきらめないことの大切さを学びました。また、当たり前の幸せやたくさんの人の支えがあって生活ができることを知りました。今後も、これまでの二年間のような生活が続くかもしれませんが、小学校で学んだことを胸に、全力で頑張っていきたいです。」と力強い誓いの言葉を述べました。小学生から中学生に上がり、気持ちも新たに多くのことに挑戦していくことでしょう。新入生の活躍を期待しています。

自ら考え行動する感染対策を

　伊敷中学校では、新型コロナウイルス感染対策として、手洗いや換気、密を避ける行動の他、様々な取組を行っています。登校した際には、教室に入る前に、検温と消毒を行います。そして、自分の体温を名簿に記入するようにしています。感染リスクが高いといわれる給食時間は、スペースの広い廊下を活用して準備し、給食当番には使い捨て手袋を着用させるとともに、食事中は黙食の徹底を図っています。さらに部活動では、帰りの会の後、部活動に参加する前の健康状態を確認するため検温を行っています。生徒には、検温結果と体調から、部活動に参加するかどうか、自ら判断する力が求められています。ご家庭でも、感染予防のため、自ら考えた行動ができるよう声掛けをお願いします。

備えあれば憂いなし

地震想定の避難訓練実施

　四月八日、地震を想定した避難訓練を実施しました。生徒は教科書で頭を守りながら、速やかに避難しました。その後、地震後の火災を想定した消火訓練も行いました。実際に地震が発生した場合、今回学んだことを生かして行動していきましょう。

５月の主な行事予定

　６日（金）耳鼻科検診（１年）
１１日（水）内科検診（２年）
１２日（木）生徒総会
１３日（金）歯科検診（２年４～６組、１年）
　　　　　　設営コンクール
１４日（土）スケッチ大会(体育服登校)
１７日（火）耳鼻科検診（３年）
１８日（水）眼科検診（全学年）
１９日（木）**中間テスト（～２０日）**
２３日（月）教育相談（～６月１日）
２５日（水）内科検診（１年）

～ お知らせとお願い ～

　本年度の研究公開（６月３日）も、コロナウイルス感染対策の観点から、三密を避ける形で実施（普通教室を使わず体育館等で公開し、参加人数も制限）いたします。今後、**受付や車誘導などの公開ボランティア**を募集しますので、ご協力いただければありがたいです。